

# まなび

発行 松永生涯学習センター編集室  
 福山市松永町三丁目1番29号  
 電話 084-934-5443  
 FAX 084-934-8251  
 メールアドレス  
 matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

人の歩みに学ぶ松永教室

## 7月22日は下駄の日

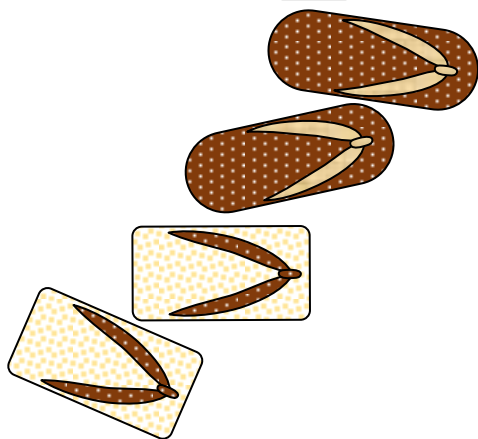
「下駄の日」を前に

「下駄ウィーク」を催します。

松永では、地域の産業として  
 全国に知られた生活文化…

この機会に よき時代の歩みを  
 振り返ります。

よかったら 下駄などはいて  
 おこしてください。



会場 いずれも西部市民センターです。

下駄<sup>げた</sup>週間<sup>ウィーク</sup>の催し

### ○展示「下駄に生きた人々」

活況だった頃の下駄産業の歩みや、暮らしに生きた下駄文化などの資料をパネル展示します。

- ・期間 7月8日(月)~22日(月)
- ・場所 1階 サロン

### ○おり下駄サロン

ボランティアのみなさんに下駄の折り方を教えてもらいます。

- ・日時 7月12日(金) 13時30分~15時
- ・場所 4階 学習支援室

### ○サロンコンサート

よかったら、下駄などはいておこしてください。

- ・出演
  - ・福山大学箏曲部のみなさん(琴の演奏)
  - ・中井 歳晴さん(ハーモニカ演奏/中井美容院店主)
  - ・ゲタップチームのみなさん(下駄タップダンス)
- ・日時 7月22日(月)
- ・場所 1階 サロン 19時~20時30分

- いずれも無料
- 主催 松永生涯学習センター
- 問合せ先  
 電話：084(934)5443  
 FAX：084(934)8251
- この講座は松永生涯学習センター一人権・社会教育活動事業として実施します。

# 東村町 かかしの里 資料館祭り

## 夏の大収穫祭 開催のお知らせ

東村学区では、毎年春と夏に「かかしの里資料館祭り」を行っています。この行事は、地域で管理する民俗資料館の運営費確保を目的に開催。学区のみなさんが育てた新鮮野菜や柏餅などを揃えて、みなさまのご来場をお待ちしています。

**日時** 7月21日(日) 8:30~10:30

**場所** かかしの里 資料館 東村小学校  
手前 11m

**問合せ** 電話 084-936-0600 (東村公民館)



(主催: 東村学区まちづくり推進委員会・東村学区自治会連合会・東村町かかし大ちゃんの店)

### 施設を利用するみなさまへ

### 公共施設への 避難者受け入れ について

これからの時期、大雨・洪水等の警報発令が予測されます。公民館、コミュニティセンター・館、交流館は災害時に避難場所として、避難者の受け入れを行う場合があります。

災害時には避難行動が最優先となりますので、施設利用者の皆様には急きょ活動を中止していただき退室をお願いする場合があります。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

なつやす  
**夏休み!**

ぶたいはっぴょう  
**舞台発表!**

**パワフル サマー ステージ** しゅつえんしゃぼしゅう  
ぼしゅうきかん  
**出演者募集**  
募集期間

**7月1日(月)~7月17日(水)**

\* 小・中・高校生を中心とした個人・グループが対象です。

問合せ・申込み: 松永生涯学習センター

TEL 934-5443 Fax 934-8251

Mail matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hirosima.jp

パワフル サマー ステージ  
**Powerful Summer Stage**

福山市西部市民センター ホール

福山市松永町三丁目1番29号

**8月24日(土)**

13:00開演 かいえん



# 情報びっくり箱

## 松永図書館 (933-3770)

〈7月の行事〉

☆展示「この本読んだ？」

- とき 7月13日(土)～8月19日(月)
- 内容 読書感想文におすすめの本を、紹介文を添えて展示

☆展示 夏の工作教室「わゴムポートをつくろう！」

- とき 7月30日(火)  
13時30分～15時
- 内容 ミニブックトークと牛乳パックを使用したわゴムポート作り

●対象者 小学生

●定員 30名※先着

●申込 7月9日(火) 10時～  
来館または電話で

〈定例行事〉

☆あかちゃんといっしょのおはなし会

- とき 7月10日(水) 11日(木)  
11時～11時30分

●対象 乳幼児とその保護者



☆松永読書会

- とき 7月15日(月) 10時～12時

●読本 「この愛のゆくえ」 岩波書店

☆さくらんぼの会 (こどもの本を楽しむ会)

- とき 7月22日(月) 10時30分～12時

●内容 「未定」

<<図書館のお休み>> 7月16日(火)



## 藤江公民館(935-7401)

☆団体別等学習事業

ストレス解消の隠し味！

～知って試して今日から笑顔生活！！～

- とき 7月27日(土)  
19時～20時

●ところ 藤江公民館 2階大会議室

●内容 講義

●講師 中原 幸子さん

(福山市男女共同参画推進委員)

●参加費 無料

●問合せ 藤江公民館へ

## 高西公民館(934-3172)

☆社会教育活動事業

人生充実☆Project講座

知ってトクするシニアの歯

- とき 7月24日(水)  
10時～11時

●ところ 高西公民館

●内容 シニアのお口のトラブルと効果的なケア方法と口腔体操

●講師 松永保健福祉課, 健康推進課, 歯科衛生士, 保健師

●申込み 必要(7月19日(金)まで)

●参加費 無料

●持参物 タオル, 飲み物

●その他 講座終了後, げんきサロンがあります。みんなで食事をしながら親睦を深めます。食事の参加には, 申込み, 別途材料費100円が必要です。

●問合せ・申込み <sup>たかにし</sup>高西公民館へ

## 今津公民館(934-2205)

☆社会教育活動事業

人生のエンディングを考える終活セミナーpart2

第1回 死生観について

第2回 介護・医療の現状

第3回 お葬式・お墓事情

- とき 第1回7月9日(火)  
第2回7月16日(火)  
第3回7月23日(火)  
13時30分から

●ところ 今津公民館 会議室

●内容 人生のエンディングを考える

●講師 第1回 鈴木 宏教さん  
薬師寺 住職

第2回 今岡 拓也さん  
福山市西南部地域包括支援センター

第3回 藤井 健さん  
JA福山市葬祭センター柳津ホールセンター長  
森 佐智恵さん  
(有石のオカダ)

●申込み 必要

●問合せ <sup>いまづ</sup>今津公民館へ

# 報告 まつなが・げんきづくり&colorsボランティア会議



6月8日（土）西部市民センターで『ボランティア会議』を行いました。松永地域を中心に活動する「まつなが・げんきづくりボランティア」、20代・30代の青年グループ「まつなが colors」のみなさんへ呼びかけました。メキシコ料理の「タコス」をみんなで一緒に作り、会食しながら自己紹介をしました。

2グループに分かれて話し合い、昨年度の振り返り、今年度の活動計画を見ながら意見交流をしました。

8月24日（土）開催の、『ビッグサマーストーリー』でやりたいことなどたくさん意見が出ました。

★今年度の活動計画について★

- ① 7月20日（土）韓国映画上映会
- ② 7月22日（月）下駄の日サロンコンサート
- ③ 8月24日（土）ビッグサマーストーリーでの活動支援
- ④ 放課後子ども教室出前講座
- ⑤ 2020年2月「第10回フレンドリーピック まつながカープチェー」
- ⑥ その他「おりばらサロン」など

✿メンバーは、随時募集しております。✿



## 西部市民センターまなびサロン【7月】

### パネル展【下駄に生きた人々】

「松永」の名を全国に響かせた「下駄」の歩みについて展示を行います。地場産業として成長し、一つの時代を築いた下駄。関わった人々の創意工夫などを写真や資料で紹介します。

- 期間 7月8日（月）～7月22日（月）
- 場所 西部市民センター 1階エントランス

### 今回は【おり下駄サロン】

7月22日は「下駄の日」。そこで今回は「おり下駄サロン」をします。おりがみで下駄を折ってみませんか？ お気軽にお立ち寄りください。

- 日時：7月12日（金）13時30分～15時
- 場所：西部市民センター4階学習支援室

【問合せ】松永生涯学習センター  
（電話 084-934-5443）



## ゲタなび

夏がきました。海へ山へ、楽しい計画を立てている人も多いでしょう。同時に夏は、平和について改めて考える季節…。焼け野原の街に希望を託し、市民が「ばら」を植えたことから、福山市では「ばら」を戦後復興の象徴として語り継いでいます。

同じ時期、松永では下駄の生産が好調に…。日本中の工場が空襲にあい、あらゆる物が不足した頃、幸い空襲がなかった松永から、全国へ下駄を出荷。多くの方が「松永下駄」をはいて



学校に通い、働き…。戦後を生きた人の暮らしを足元から支えました。ノスタルジックな映画やアニメに下駄ばきの登場人物が多いのは、そうした時代背景かと…。やがてゴム製品の生産が増え、下駄は役割を終えたかのように姿を消しましたが、そんな歩みの下駄もまた戦後復興の象徴かと…。カラコロンの足音と合わせ、次の世代に語り継ぎたいものです。